

副 管 理 者	内 藤 俊 三 君	副 管 理 者	中 村 修 一 君
丹南青少年 愛護センター所長	軽 部 利 宣 君	会 計 管 理 者	田 上 政 人 君
事 務 局 長	金 子 明 祐 君	事 務 局 次 長	河 崎 潤 一 君
地域情報課長	西 川 一 栄 君	審 査 課 参 事	小 川 敬 子 君
総務課課長補佐	田 中 知 世 君	鯖江市めがねのまち さばえ戦略室長	斉 藤 邦 彦 君

6 職務のための出席者

議会事務局長	西 村 郁 夫	越前市議会 事務局長	瀧 見 尚 是
議会事務局次長	深 川 淳 子	議会事務局参事	笠 嶋 忠 輝
議会事務局 次長補佐	上 野 紀 子		

な事業について基本的な考え方を申し上げます。

それでは、早速最近の組合事業等の状況につきまして申し上げます。

福井財務事務所が1日に発表しました県内経済情勢では、県内経済は緩やかに拡大しつつあると5カ月間連続の判断が示されております。また、雇用情勢につきましても福井労働局が2月に発表した昨年12月の県内有効求人倍率は2.07倍と、東京都の2.15倍、広島県の2.09倍に次ぐ全国3位の高水準を維持しております。今後も景気の拡大基調が期待され、個人消費の拡大や設備投資が着実に増加するなど明るい話題もある中、一方では雇用情勢が着実に改善するものの、人手不足感が顕在化しており、中小事業者においては厳しい経営環境に変わりなく、景気の拡大傾向が長期化しているという実感は依然として乏しいものです。

こうした状況の中、組合の構成市町も厳しい行財政運営を強いられており、組合におきましても電算システムや介護認定などの共同処理事業について効率的な事務の運営や一層の経費削減に取り組んでおり、今後とも住民サービスの更なる向上に努めてまいりたいと考えております。

それでは、現在組合で取り組んでいる主な事務事業について御説明申し上げます。

まず、自治体クラウド推進事業については、突発的なシステム障害などにより長期的な住民サービスの停滞を招かないよう構成市町との検討を進めており、不測の事態を乗り切れる体制構築に向け更なる協議をしております。また、システム改修を進める際には専門家からの助言、指導などを得ながら調達コストの削減に取り組んでまいります。

マイナンバー制度については、情報連携システムなどの基盤整備が一区切りし、運用の拡充段階に入っております。国からの指導を踏まえ、より効果が期待され、また業務を円滑に進めることができるよう、構成市町と連携しながら進めてまいります。

自治体クラウド更新事業については、現在の契約が来年9月までとなっておりますことから、更新に向けての作業を進めてまいりました。プロポーザルの結果、引き続き現行の事業者へ決定しましたので、新たな契約の締結に向け詳細を協議してまいります。

次に、介護認定審査会及び障害者給付認定審査会について申し上げます。

昨年4月から12月末までの審査状況につきましては、介護認定審査会を162回開催し、5,218件の審査判定を行いました。障害者給付認定審査会は18回開催し、293件の審査判定を行いました。これらの審査判定には、両審査会で合わせて78名の委員に御尽力をいただいております。順調に運営されているところです。認知症高齢者の増加や少子化が進行する中、介護を必要とする方や障害のある方が住みなれた地域や住まいで尊厳ある自立した生活が送れるよう、今後も公平・公正かつ適正な審査判定を行ってまいります。

続きまして、丹南青少年愛護センターについて申し上げます。

近年青少年をめぐるのは、少子化や地域とのつながりの希薄化などといった社会環境の変化に加え、スマートフォンを初めとしたインターネット等の情報端末機器の急激な普及に伴い、より身近に違法で有害な情報に接してしまう危険性も増大しております。このような現状を踏まえ、丹南青少年愛護センターとしては、引き続き青少年の心のすき間を埋める「愛の一声」補導活動や「ヤングテレホン」等の相談活動、環境浄化活動等の充実強化に努め、家庭、地域、学校、警察、県・市町等関係機関と緊密な連携を図りながら次代を担う青少年の健全育成に努めてまいります。

次に、ふるさと市町村圏振興事業について申し上げます。

振興事業で取り組んでおります広域観光事業については、伝統工芸品の産地を核として周辺の観光地をめぐるモデルルート等を紹介した「越前たくみ街道ドライブガイドマップ」や、丹南地域の観光地や体験メニュー、御当地グルメなどを紹介した観光パンフレット「t a n n a n (たんなん)」を作成し、県内の観光案内所や道の駅、高速道路のサービスエリアなどに配布いたしました。

出向宣伝については、丹南地域の認知度の向上を図るため、昨年9月に東京ビッグサイトで開催された国内最大の旅行イベント「ツーリズムEXPOジャパン2018」や埼玉県越谷市にある国内最大級のショッピングセンターにおいて丹南広域観光協議会が県や他の広域観光団体とともに参加し、丹南地域をPRしてまいりました。

さらに、丹南広域観光協議会では、北陸新幹線の県内延伸を観光分野の大きな転機と捉え、丹南地域に周遊・滞在してもらえるよう「丹南地域周遊・滞在型観光推進計画」を平成28年度に策定し、この計画を実現するため今年度から5カ年にわたる「丹南地域周遊・滞在型観光推進事業」に着手いたしました。今年度は、各地域の観光資源の掘り起こし、磨き上げなどを中心に、RENEW開催時のシャトルバスの運行やシェアリングエコノミーを用いた輸送方策に関する実証実験、「岡太神社・大瀧神社」へのウォーキングイベントに地元工房での作業風景の公開等を加えた地場産業の再興に関する実証実験など、体験事業をメインとした商品の造成に向けた作業を進めてきました。引き続き観光資源の掘り起こし、磨き上げに取り組みながら、外国からのインバウンド観光や主要駅からの二次交通アクセスなどの課題に対しても検討を進め、魅力ある商品化につなげていきたいと考えております。

今後とも北陸新幹線の敦賀開業となる2023年春をめどに丹南地域への更なる誘客、観光消費額の拡大を目指し、観光資源の磨き上げや商品化への実証実験、各種プロモーション事業などに取り組んでまいります。

それでは、ただいま上程されました議案第1号 平成31年度福井県丹南広域組合一般会計予算から議案第3号 平成30年度福井県丹南広域組合一般会計補正予算（第2号）まで一括して御説明申し上げます。

初めに、議案第1号 平成31年度福井県丹南広域組合一般会計予算について御説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は7億8,693万円を計上し、平成30年度から4,801万2,000円の減額といたしました。

まず、歳出予算の主なものを申し上げますと、議会費では運営費として152万7,000円を計上いたしました。総務費では、総務管理費に組合運営経費として4,135万5,000円を計上いたしました。

総務費のうち、情報処理には全体で6億4,623万円を計上し、このうちシステム運営費では広域電算事業の維持管理等経費として1億7,119万6,000円を計上いたしました。システム整備費では、クラウドサービス利用料、マイナンバー対応のシステム改修費等として4億7,503万4,000円を計上いたしました。

次に、民生費では、介護認定審査会費及び障害者給付認定審査会の運営等に係る費用として7,537万円を計上いたしました。

次に、教育費では、丹南青少年愛護センター費に補導活動費や研修会の開催費などとして2,194万8,000円を計上いたしました。

以上の歳出に対する財源としては、構成市町の負担金7億8,560万7,000円、県支出金104万3,000円、繰越金1万円、諸収入27万円を計上いたしました。

次に、議案第2号 平成31年度福井県丹南広域組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算について御説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は416万円で、前年度と増減はございません。

歳出予算の主なものは、広域観光事業に係る費用でございます。これらの財源については、財産運用収入であるふるさと市町村圏基金の利子174万円と繰越金1万円、基金からの繰入金241万円を計上いたしました。

次に、議案第3号 平成30年度福井県丹南広域組合一般会計補正予算（第2号）について御説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出の総額を709万8,000円減額し、補正後の総額を8億2,867万4,000円にするものです。歳出につきましては、情報処理費で27万5,000円を減額しました。これは、社会保障・税番号制度で利用する番号連携サーバーの保守業務の不用額によるシステム運営費委託料の129万6,000円の減額と、介護保険のシステム改修委託料等の不

用額によるシステム整備費委託料947万7,000円の減額、また、児童扶養手当システム、法改正対応改修に伴う補正として、システム整備費委託料1,049万8,000円を増額しました。民生費につきましては、精算による補正を行い、介護認定審査会費の運営費として698万7,000円の減額、障害者給付認定審査会費の運営費として16万4,000円を増額を行いました。

歳入については、構成市町の負担金を2,988万8,000円減額し、社会保障・税番号制度システム整備国庫補助金として2,279万円を計上いたしました。

以上、議案第1号 平成31年度福井県丹南広域組合一般会計予算から議案第3号 平成30年度福井県丹南広域組合一般会計補正予算（第2号）の3案につきまして提案理由の説明とさせていただきます。よろしく御審議の上、妥当な御決議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（佐々木勝久君） ただいまの説明に対し質疑はありますか。

（「なし。」と呼ぶ者あり）

○議長（佐々木勝久君） ないようでありますので、質疑を終結いたします。

討論を行います。

討論はありますか。

（「なし。」と呼ぶ者あり）

○議長（佐々木勝久君） ないようでありますので、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第1号 平成31年度福井県丹南広域組合一般会計予算を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（佐々木勝久君） 起立全員であります。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第2号 平成31年度福井県丹南広域組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（佐々木勝久君） 起立全員であります。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第3号 平成30年度福井県丹南広域組合一般会計補正予算（第2号）を採決いたします。

○副議長（佐野和彦君） ただいま議長が欠員となりました。

お諮りいたします。

この際、議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（佐野和彦君） 御異議なしと認めます。

よって、議長の選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

○副議長（佐野和彦君） お諮りいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定に基づき指名推選により行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（佐野和彦君） 御異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選により行うことに決しました。

お諮りいたします。

指名の方法は、議長において指名することにしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（佐野和彦君） 御異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

議長に20番 川崎悟司君を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました川崎悟司君を議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（佐野和彦君） 御異議なしと認めます。

よって、20番 川崎悟司君が議長に当選されました。

川崎悟司君が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

議長に当選されました川崎悟司君に御挨拶をお願いいたします。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○副議長（佐野和彦君） 川崎悟司君。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(川崎悟司君) 異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

副議長に6番 井上利治君を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました井上利治君を副議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(川崎悟司君) 異議なしと認めます。

よって、6番 井上利治君が副議長に当選されました。

井上利治君が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

副議長に当選されました井上利治君に御挨拶をお願いいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○議長(川崎悟司君) 井上利治君。

○井上利治君 [登壇] ただいま議員各位の御推挙を賜りまして副議長の要職につかせていただくことになりました井上でございます。心より御礼申し上げますとともに、この重責を痛感いたしているところでございます。

川崎議長の補佐役として、丹南広域行政の更なる充実、発展のため精いっぱい努力させていただき所存でございます。今後とも議員各位の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが一言お礼にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。(拍手)

○議長(川崎悟司君) ここで牧野管理者から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○議長(川崎悟司君) 牧野管理者。

○管理者(牧野百男君) [登壇] 平成31年2月福井県丹南広域組合議会第61回定例会の閉会に当たりまして一言お礼の御挨拶を申し上げます。

ただいまは、平成31年度予算を初めとする重要案件につきまして熱心に御審議をいただき、妥当な御決議を賜りまして心からお礼を申し上げます。

さて、私はこの3月31日付をもちまして管理者の職を退任することになりました。後任の管理者には、さきの管理者会におきまして、慣例により奈良越前市長に御就任いただく

